

論点整理（案）

混雑等に応じた柔軟な料金体系に向けた論点整理（案）

混雑等に応じた柔軟な料金体系に向けた主な論点

- ◆高速道路の渋滞対策や観光を含む地域活性化等の観点から、道路ネットワークの計画的な整備等とあわせて、既存の高速道路のストックを持続的に維持しながら最大限に活用していくため、混雑等に応じた柔軟な料金体系は、どうあるべきか。

<目的・方向性>

- 高速道路の混雑について、これまでの休日割引等の見直しに向けた取組状況などを踏まえ、時間的・空間的に偏在する交通需要に対し、どのような料金体系を検討していくべきか。

<検討対象とする箇所を選定>

- 大都市圏や主要な都市間を結ぶ路線等における渋滞状況を踏まえ、具体的にどのような路線・区間等を対象として、料金施策を検討していくべきか。

<地域への影響>

- 並行する一般道や他の交通機関への影響、行動変容が困難な交通等への対応に留意して検討していくべきではないか。

<関係機関との連携>

- 沿線自治体や地元経済界・観光業界などの関係機関（関係者）との連携に留意して検討していくべきではないか。

<施策目的と分かりやすさ>

- 高速道路料金システムの現状を踏まえ、施策目的に応じた柔軟な料金体系と、シンプルで利用者に分かりやすい料金体系について両立させるよう検討していくべきではないか。

<施策の分析・評価>

- 一般道の利用も含めて、混雑等に応じた柔軟な料金体系による効果を予測・把握するためには、どのようなデータ分析や評価項目で検討していくべきか。